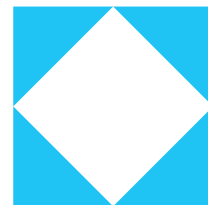


CCR ハンドブック



目次

CCR ハンドブックの使用方法.....	3
CCR プログラムの概要.....	4
CCR の必要条件（対象：PMP、PgMP、PfMP、PMI-PBA、PMI-ACP、PMI-RMP、PMI-SP、CAPM）.....	4
教育分野.....	5
専門職へのギブバック活動分野.....	6
CCR プロセス.....	7
CCR システム（CCRS）.....	7
PDU（Professional Development Unit）について.....	8
PDU の報告.....	8
PDU の取得方法.....	9
資格更新の費用と規定.....	13
PMI 監査プロセス.....	13
酌量すべき事情（Extenuating Circumstances）.....	13
複数の PMI 資格を維持する方法.....	14
教育分野の PDU.....	14
専門職へのギブバック活動分野の PDU.....	14
資格のステータス.....	15
Active Status（資格が有効な状態）.....	15
Suspended Status（資格停止状態）.....	15
Expired Status（資格が失効した状態）.....	15
Retired Status（条件を満たした退職者のみ申請できるステータス）.....	15
CCR の必要条件（対象：ディシプリンド・アジャイル関連資格）.....	16
CCR システム（CCRS）.....	16
PDU（ディシプリンド・アジャイル）.....	16
資格更新の費用と規定（ディシプリンド・アジャイル）.....	17
付録.....	17
PMI 資格認定申請および更新の同意条項（PMI Certification Application/Renewal Agreement）.....	17

PMI、PMI のロゴ、Making project management indispensable for business results、PMBOK、CAPM、Certified Associate in Project Management（CAPM）、PMP、Project Management Professional（PMP）、Project Management Professional、PMP のロゴ、PgMP、Program Management Professional（PgMP）、PMI-RMP、PMI Risk Management Professional（PMI-RMP）、PMI-SP、PMI Scheduling Professional（PMI-SP）、PMI-ACP、PMI Agile Certified Practitioner、PfMP、Portfolio Management Professional（PfMP）、PMI Project Management Ready はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。



CCR ハンドブックの使用方法

このハンドブックには、PMI 資格を積極的に維持するための規定と手順に関する情報が記載されています。すべての資格保有者はこの文書に記載されている規定を理解し、それに従うことが求められます。

PMI の連絡先

資格認定プログラムに関する一般的な情報については、最寄りのカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

資格維持のための [Online CCR System](#)



CCR プログラムの概要

PMI の CCR プログラムは、資格保有者の継続的な学習活動および専門職としての能力開発を支援し、今日の複雑なビジネス環境の要求を常に満たすために用意されています。CCR プログラムの目的は以下のとおりです。

- 資格保有者の継続的な学習と職務能力開発を強化すること
- 資格認定を受けた実務者の妥当性を確保するために、職務能力開発分野の方向性を提示すること
- 個別学習の機会を奨励し評価すること
- 専門能力開発活動を実施し記録する仕組みを提供すること
- PMI 資格の世界的な認知と価値を維持すること

PMI 資格を取得したすべての人は、CCR プログラムへの参加と資格の更新を通じて積極的に資格を維持する必要があります。PMP、PgMP、PfMP、PMI-PBA、PMI-ACP、PMI-RMP、PMI-SP、CAPM 資格の更新サイクルは 3 年、ディシプリンド・アジャイル関連資格の更新サイクルは 1 年です。

専門能力開発活動や学習活動に参加することによって、資格保有者は PDU (Professional Development Units) を取得することができ、それによって資格更新条件を満たし、最終的には実務者としてさらに成長することができます。

専門家が抱えるニーズや欲求は人それぞれです。CCR プログラムはそれらのニーズに適応し、それぞれの CCR 活動をカスタマイズできるように柔軟に設計されています。CCR プログラムはあくまでも一般的なフレームワークとガイダンスを示すものです。CCR 達成と能力開発の道筋に関する最終的な判断は資格保有者各自に委ねられています。

CCR の必要条件 (対象: PMP、PgMP、PfMP、PMI-PBA、PMI-ACP、PMI-RMP、PMI-SP、CAPM)

すべての PMI 資格保有者は、PMI 資格を維持するために PDU を取得する必要があります。PDU は、次の 2 つの分野のいずれかを中心とするさまざまな職務能力開発活動を通じて取得することができます。

1. **教育分野**—テクニカル・スキル、リーダーシップ・スキル、ストラテジック&ビジネスマネジメント・スキルを高め、強化するための学習機会
2. **専門職へのギブバック活動分野**—専門職に貢献し、その発展に寄与するための知識とスキルを共有し活用するための活動

下記のように、CCR 必要条件は PMI 資格により異なります。

資格	資格サイクル	必要な PDU の合計	教育分野に必要な最低限の PDU	ギブバック活動で加算できる最大 PDU
PMP	3 年	60	35	25
PgMP	3 年	60	35	25
PfMP	3 年	60	35	25
PMI-PBA	3 年	60	35	25
PMI-ACP	3 年	30	18	12
PMI-RMP	3 年	30	18	12
PMI-SP	3 年	30	18	12
CAPM	3 年	15	9	6



教育分野

PMI では以前から、プロジェクト専門家が強固なスキル・セットを開発できるよう支援することに尽力してきました。しかし、プロジェクト専門家は今や、さまざまな分野やプラクティス、その他の需要の高いスキルを網羅したスキル・セットを求められるようになっていきます。

プロジェクト専門家が今日の仕事の世界における変化に対応し、よりスマートな働き方を採用できるようにするために、PMI では PMI タレント・トライアングル®の各要素を見直し、「働き方」（旧「テクニカル・プロジェクトマネジメント」）、「パワースキル」（旧「リーダーシップ」）、「ビジネス感覚」（旧「ストラテジック&ビジネスマネジメント」）へと変更しました。

PMI タレント・トライアングル®



働き方：今日、仕事のやり方に唯一の正解がないことは明らかです。PMI では、しかるべき技法をしかるべき場面で利用することによって優れた結果を出せるようになるために、できるだけ多くの働き方をマスターすることを奨励しています。

パワースキル：パワースキルとは、協調型リーダーシップ、コミュニケーション、革新的マインドセット、目的指向、共感性といった人間関係のスキルを指します。これらのスキルを持つチームは、さまざまなステークホルダーに対する影響力という、変化を起こすために不可欠な要素を揺るぎないものにできます。

ビジネス感覚：あらゆるレベルのプロジェクト専門家は、担当するプロジェクトがさらに大きな組織戦略や世界的トレンドの全体像とどのようにかみ合っているのかを理解して、効果的な意思決定を行うことができなければなりません。

絶えず変化するビジネス環境に適切に対応できるように、CCR プログラムの教育コンポーネントは PMI タレント・トライアングルと連携しています。資格保有者は、PMI タレント・トライアングルの各スキルエリア（働き方、パワースキル、ビジネス感覚）で**最低限の PDU** を取得する必要があります。教育カテゴリの PDU は必要最低限の PDU 数を超えてもよく、教育カテゴリで取得できる PDU 数に制限はありません。

教育カテゴリは、以下に詳述する PMI タレント・トライアングルのスキルエリアに基づいてさらに細分化されています。

教育カテゴリの PDU—最低限必要なタレント・トライアングルによる PDU—					
資格と最低限必要な教育カテゴリの PDU		必要な働き方 PDU	必要なパワースキル PDU	必要なビジネス感覚 PDU	残りの PDU (タレント・トライアングルのどのスキルエリアでも可)
PMP	35	8	8	8	11
PgMP	35	8	8	8	11
PfMP	35	8	8	8	11
PMI-PBA	35	8	8	8	11
PMI-ACP	18	4	4	4	6
PMI-RMP	18	4	4	4	6
PMI-SP	18	4	4	4	6
CAPM	9	2	2	2	3

専門職へのギブバック活動分野

PMI は知識を共有し、積極的にスキルを適用することが専門職に貢献する貴重な手段であると認識しています。さらに、多くの人がギブバック活動は豊かな学習体験であり、専門職としての能力の開発をいろいろな方法で向上させると感じています。そのため、ギブバック活動は PDU の対象とされ、CCR プログラムに組み込まれています。

ギブバック活動による PDU は必須ではなく、あくまでもオプションとして取得できる PDU であることに注意してください。先に示した表に記載されているギブバック活動による PDU の条件は、このカテゴリのそれぞれの資格で認められている PDU 数の上限です。ギブバック活動による PDU を取得する場合、PDU の合計数は先に示した表に記載されている制限を超えてはいけません。

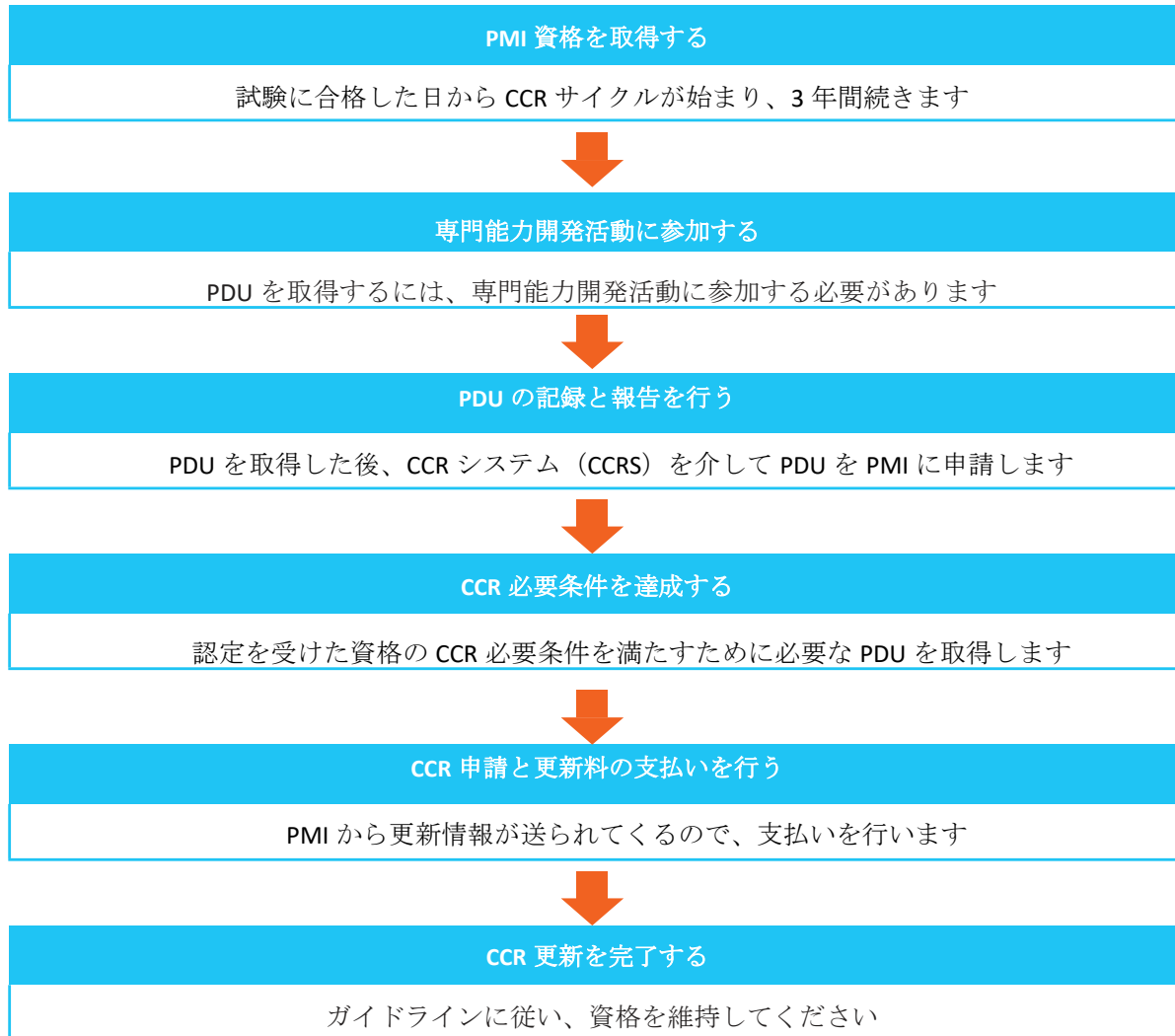
複数の PMI 資格を維持するための PDU 取得に関する規定については、本ハンドブックの「[複数の PMI 資格を維持する方法](#)」セクションを参照ください。

保有している資格ごとの PDU 維持方法の詳細については、下図を参照ください。

60PDU (PMP/PgMP/PfMP/PMI-PBA 資格)	30PDU (PMI-ACP/PMI-RMP/PMI-SP 資格)	15PDU (CAPM 資格)
教育分野—最低 35PDU	教育分野—最低 18PDU	教育分野—最低 9PDU
▲ 8PDU 働き方	▲ 4PDU 働き方	▲ 2PDU 働き方
▲ 8PDU パワースキル	▲ 4PDU パワースキル	▲ 2PDU パワースキル
▲ 8PDU ビジネス感覚	▲ 4PDU ビジネス感覚	▲ 2PDU ビジネス感覚
● 残りの 11PDU はタレント・トライアングルのどのスキルエリアでも可	● 残りの 6PDU はタレント・トライアングルのどのスキルエリアでも可	● 残りの 3PDU はタレント・トライアングルのどのスキルエリアでも可
ギブバック活動分野—最大 25PDU	ギブバック活動分野—最大 12PDU	ギブバック活動分野—最大 6PDU
● ボランティア活動	● ボランティア活動	● ボランティア活動
● 知識の開発	● 知識の開発	● 知識の開発
● 専門職実務 (最大 8PDU)	● 専門職実務 (最大 4PDU)	● 専門職実務 (最大 2PDU)

CCR プロセス

CCR プログラムに参加するためのプロセスは、いくつかの重要なステップから構成されています。



PDU（Professional Development Unit）について

PDUは、承認された学習活動およびプロフェッショナル・サービス活動を定量化するために使用される測定単位です。

教育カテゴリの PDU アクティビティは、PMI タレント・トライアングルのスキルエリア、および各資格の試験内容の概要（Examination Content Outline）に記載されているドメインと知識エリアとおおむね一致するトピックに関連している必要があります。

試験内容の概要は、学習活動のトピックとコンセプトの事例を示すリソースとして使用できます。

資格	試験内容の概要
PMP	PMP 試験内容の概要
PgMP	PgMP 試験内容の概要
PfMP	PfMP 試験内容の概要
PMI-PBA	PMI-PBA 試験内容の概要
PMI-ACP	PMI-ACP 試験内容の概要
PMI-RMP	PMI-RMP 試験内容の概要
PMI-SP	PMI-SP 試験内容の概要
CAPM	CAPM 試験内容の概要

各専門能力開発活動を行うと、1時間当たり1PDUを取得できます。PDUの取得には制約もありますが、これについてはPDUアクティビティとそれに関連する規定を取り上げた「**PDU取得方法**」のセクションに記載されています。

PDUは端数も報告することができます。報告できるPDUの最小端数は0.25です。つまり、報告できるPDUアクティビティに15分費やした場合は、0.25PDUを報告することができます。報告できるPDUアクティビティに30分を費やした場合は、0.50PDUとなります。

PDUの報告

資格保有者は、PDUアクティビティを実施した時にその活動を記録する責任があります。PDUを記録する最も効率的な方法は、[CCRS \(https://ccrs.pmi.org/\)](https://ccrs.pmi.org/)を使用することです。有効な資格ステータスを維持するには、CCRサイクルが終了する前にPDUを記録し、更新手続きを完了する必要があります。CCRサイクル内に必要なPDUの取得と記録ができなかった場合、資格はSuspended Status（資格停止状態）になります。詳細については、このハンドブックの「**資格のステータス**」セクションを参照ください。



PDU の取得方法

PDU を取得する機会と方法にはさまざまなものがあります。CCR プログラムは、実施された開発活動のタイプに基づいて PDU を分類します。各活動の説明、例、関連する規定については、以下の表を参照してください。

教育分野

コースまたはトレーニング (Course or Training)

講師により実施される公式の教育コースまたは講習で、対面またはオンラインで開催されるもの

教育トレーニングコースに参加することは伝統的かつ効果的な学習方法です。PMI や第三者教育プロバイダーが世界中で数多くのコースを提供しています。

- PMI 認定トレーニング・パートナー (ATP) が提供するトレーニングコース
- PMI 支部が開催する教育イベント
- PMI SeminarsWorld®での講師による対面教育コース
- オンデマンド e-Learning コース
- PMI Global Accreditation Center (GAC) が認定したプログラムによる学術教育
- 他の第三者教育プロバイダーが実施するコース

PDU 規則 :

- 1 時間の受講が 1PDU に相当します。
- コースの一部のみが PMI のタレント・トライアングルのスキルエリアに関係する場合、カリキュラム全体において該当するトピックが占める割合で PDU を計算します。
- コースごとに報告してください。学位プログラム全体での PDU 取得はできません。コースごとでの取得となります。

監査で必要とされる書類 : 受講申込書、修了証または受講を証明する文書。

組織のミーティング (Organization Meetings)

専門職に関連したミーティング、活動およびローカル・イベント

教育的要素を含んだ専門職のミーティングは、学習とネットワーキング (人脈作り) の機会です。PMI 支部や第三者機関が年間を通して地域レベルでこれらの活動を主催しています。あなたが所属する組織も専門職のイベントを実施する場合があります。

- PMI イベントカレンダーで検索
- 最寄りの PMI 支部のイベントを確認

PDU 規則 :

- 通常 1~2PDU に限定されます。

監査で必要とされる書類 : 参加申込書、参加証明書またはイベント参加を証明するその他の様式の文書

オンラインまたはデジタルメディア (Online or Digital Media)

オンラインやさまざまな形態のデジタルメディアによる自己ペースで進められる学習活動

技術の発達により、自分のスケジュールとニーズに合わせて学習や教育の機会をカスタマイズできるようになりました。多くのオンラインセミナー、ビデオやその他のデジタルコンテンツがオンラインでオンデマンドで利用可能です。以下のリソースを利用して学習の機会を探してみてください。

- [ProjectManagement.com](https://www.projectmanagement.com)
- PMI のオンライン・コース
- 認定トレーニング・パートナー (ATP)

PDU 規則：

- 1 時間の学習は 1PDU に相当します。
- PMI タレント・トライアングルのスキルエリアのトピックに関連し、所定の目的を満たし、知識豊富なリソースを利用する活動のみが対象となります。

監査で必要とされる書類：報告する学習活動を実施した証拠（実施した活動の概要と日付を含む）

注：ProjectManagement.com のアカウントが資格情報を含む PMI.org アカウントにリンクしている場合、PDU は自動的に報告されます。

読書 (Read)

持っている資格に関連する書籍の自主的な読書

読書は学習の貴重な要素です。そして、専門職に関連する文献は多数存在します。書籍や記事、ホワイトペーパー、ブログを読んで常に最新の情報に触れることは、専門職としての能力を継続的に開発するための助けになります。利用できるコンテンツの一部は以下で確認できます。

- PMI のオンラインストア
- [ProjectManagement.com](https://www.projectmanagement.com)

PDU 規則：

- 1 時間の学習は 1PDU に相当します。

監査で必要とされる書類：報告する学習活動を実施した証拠（実施した活動の概要と日付を含む）

非公式学習 (Informal Learning)

体系的なディスカッションに焦点を当てた教育機会

学びは他者との交流から得られることもあります。例えば、メンタリングを受けたり、所属組織の昼食学習会に参加したりといった、専門職に関する体系的なディスカッションを他者で行うことも PDU 取得の対象となります。

PDU 規則：

- 1 時間の学習は 1PDU に相当します。

監査で必要とされる書類：実施した学習活動の概要と日付を記載した学習記録

専門職へのギブバック活動分野

実務者として仕事をする (Work as a Practitioner)

認定された資格の専門職としての実務

資格保有者は日々、資格に関連した分野の業務に携わることによって知識とスキルを実務に応用できます。このように能力を積極的に発揮することは、専門職の維持と成長に大いに役立ちます。

PDU 規則：

- この活動は CCR サイクル内で申請できる PDU に上限があります。
 - PMP、PgMP、PfMP、PMI-PBA に関しては、サイクル内で 8PDU を上限とします。
 - PMI-ACP、PMI-RMP、PMI-SP に関しては、サイクル内で 4PDU を上限とします。
 - CAPM に関しては、サイクル内で 8PDU を上限とします。
- このカテゴリ（実務者として仕事をする）で PDU を申請できるのは各 CCR サイクルで 1 回限りです。
- このカテゴリで PDU を申請すると、専門職へのギブバック活動によって取得できる残りの PDU が少なくなります。
- このカテゴリでの PDU は、現在のサイクルのみに適用され、次サイクルへ持ち越すことはできません。

監査で必要とされる書類：雇用証明（職務記述書）

コンテンツ作成 (Create Content)

実務者や広く一般の方が利用できる新しい知識リソースを創る

知識リソースを作成すれば、知識や知見を他者と共有して他者の継続的な学習に貢献できます。新しいコンテンツを作成する方法は、書籍やブログ、記事の執筆、あるいはウェビナーやプレゼンテーション資料の制作など多岐にわたります。

- ProjectManagement.com のコンテンツの作成
- ProjectManagement.com の Knowledge Shelf 記事の執筆

PDU 規則：

- コンテンツ制作に費やした 1 時間は 1PDU に相当します。

監査で必要とされる書類：出版物のコピー、教材のサンプル、またはコース・アジェンダ

プレゼンテーションの実施 (Give a Presentation)

専門職に関するトピックのプレゼンテーションを実施する

他者に対して正式なプレゼンテーションを行い、保有資格に関連する知識を共有する機会は数多く存在します。PMI 支部主催のイベントや専門家向けカンファレンス、所属組織内での講演はその例です。これは数ある機会の一部にすぎません。自分が利用できる機会を探してみてください。

PDU 規則：

- 1 時間の発表は 1PDU に相当します。

監査で必要とされる書類：プレゼンテーションのコピー

専門職へのギブバック活動分野

知識の共有 (Share Knowledge)

自分の専門知識を共有し、他の人が学び成長するのを助ける

他の人と自分のスキルを共有することで、その職業に携わる人全体を成長させ、認定された役割に必要な実務能力を高めることができます。あなたがメンタリングや指導を行ったり、何らかの活動に自身の専門知識を適用したりすることで、他者はあなたの経験や観点から恩恵を受けることができます。

PDU 規則：

- 知識共有に費やした 1 時間が 1 PDU に相当します。
監査で必要とされる書類：コーチングやメンタリングの実施を裏付ける証拠（ディスカッションや活動の概要と日付を含む）

ボランティア (Volunteer)

勤め先や客先以外の組織でボランティアとしてサービスを提供する

PMI には、PMI とさまざまな役割に携わる専門職をサポートする数千人のボランティアから成る活発なコミュニティがあります。ボランティア活動をすることで、PMI の委員会やチームに参加することができます。また、他の非営利組織で、自分の専門分野にかかわるボランティアをすることもできます。

- [PMI でのボランティア活動について調べてみる。](#)
- 既に PMI でボランティアに参加していますか？ [Volunteer Relationship Management System \(VRMS\)](#) でボランティアの機会を確認してください。

PDU 規則：

- 1 時間のボランティア（報酬を得ない）活動が 1PDU に相当します。
監査で必要とされる書類：ボランティア活動に参加したことを認めた組織からの書簡や証明書

その他の PDU に関する規定

- PMI 資格を取得する前に完了した活動は、PDU の対象にはなりません。また、同じコースまたは活動への参加実績によって PDU を申請できるのは一度のみです。
- CCR サイクルで必要な PDU 数以上を取得した場合は、次のサイクルに PDU の一部を繰り越すことができます。次のサイクルに繰り越すことができるのは、資格サイクルの最終年（12 か月間）に取得した PDU のみです。

資格	PMP	PgMP	PfMP	PMI-PBA	PMI-ACP	PMI-RMP	PMI-SP	CAPM
繰り越し可能な PDU 数	20	20	20	20	10	10	10	5

資格更新の費用と規定

資格保有者が PDU 必要条件を満たしていることを PMI が確認すると、資格更新手続きに関する電子メールが送信されます。この電子メールの指示に従い、Online Certification System で更新料を支払ってください。更新料は会員・非会員の別や地域により異なります。最新の更新料は、PMI.org の資格 (Certifications) のメニューで確認できます。

***注：PMI 会員の更新料は、資格更新料とは異なります。**

PDU 必要条件を満たした後は、更新料を支払えばサイクルのどの時点でも更新プロセスを完了できます。ただし、更新料の支払いはサイクル終了日から 90 日以内に行う必要があります。

PMI 監査プロセス

PMI 資格保有者は、監査プロセスの条件などの利用規約を順守することに同意したことになります。監査プロセスの条件は、すべての資格保有者が監査の対象であることを規定としています。監査の際には、すべての条件を満たし監査を通過した後にのみ、資格を更新することができます。

PMI の監査プロセスでは、何パーセントかの資格保有者がランダムに選択されます。監査対象として選ばれた資格保有者は、申請済みの PDU を検証するために使用する裏付け資料の提出を求められます。したがって、CCR サイクルが終了しても少なくとも 18 か月間は、申請したすべての PDU の資料を保管しておくことが重要です。

酌量すべき事情 (Extenuating Circumstances)

資格はいつでも取り消しできます。取り消しを希望する場合は、書面でカスタマーケア (customer-care@pmi.org) まで連絡してください。PMI は、書面による取り消し要求日以降に使用されなかった更新済み CCR サイクルの 1 年につき更新料の 3 分の 1 を払い戻します。

このハンドブックに記載されている資格更新プロセスを完了できない、その他の正当な理由がある場合は、カスタマーケアにお問い合わせください。PMI は、すべての主張をケースバイケースで審査します。



複数の PMI 資格を維持する方法

PMI は、複数の資格を同時に維持するために使用できる PDU を簡単に取得できるようにしています。複数資格に使用できる PDU を取得する方法は次のとおりです。

教育分野の PDU

パワースキル PDU とビジネス感覚 PDU はすべての資格に適用できる場合があります

パワースキルとビジネス感覚のコンセプトは幅広い教育トピックであり、1つの資格だけの特有な分野ではないため、働き方とビジネス感覚の分野の教育 PDU はすべての資格に適用できる場合があります。

例えば、2 パワースキル PDU を付与するコースに参加する場合は、あなたが保有するすべての認定資格に加算することができます。

働き方 PDU は複数の資格に適用される場合があります

働き方に関する教育は、各資格領域に特有です（例えば、プログラムマネジメントを行うために必要な働き方は、ビジネス・アナリシスに必要な働き方とは異なります）。ただし、働き方に関する一部のトピックは複数の資格ドメイン領域に適用されます。複数の資格に適用可能な働き方に関する内容が学習活動に含まれている場合、該当するすべての資格に対して働き方 PDU を申請することができます。申請する PDU の数は、それら特定のテクニカル・トピックに費やされた時間と同等でなければなりません。

また、取得したすべての働き方 PDU は、PMP 資格の維持に使用する PDU としてカウントされます。

例えば、リスク・マネジメント（3 時間）、スケジューリング（2 時間）、ビジネス・アナリシス／要求事項マネジメント（2 時間）、そしてアジャイル（1 時間）など複数の分野をカバーする 10 時間のプロジェクトマネジメント／プログラムマネジメント・コースを受講した場合の分類は以下のとおりとなります。

資格	PMP	PgMP	PfMP	PMI-PBA	PMI-ACP	PMI-RMP	PMI-SP	CAPM
申請できる働き方 PDU	10	10	0	2	1	3	2	10

専門職へのギブバック活動分野の PDU

ギブバック活動の PDU はすべての資格に適用できます

専門職へのギブバックは、（教育活動よりも）さらに広い領域に及ぶ活動であるため、これらの活動を通じて申請する PDU はすべての資格に適用できます。

例えば、PMI のイベントでのボランティア活動を理由に 2PDU を申請すると、保有するすべての資格に対して 2PDU を加算できます。



資格のステータス

認定の状態（ステータス）は、CCR プログラムへの参加と、その必要条件の達成状況によって決まります。認定ステータスの種類は次のとおりです。

Active Status（資格が有効な状態）

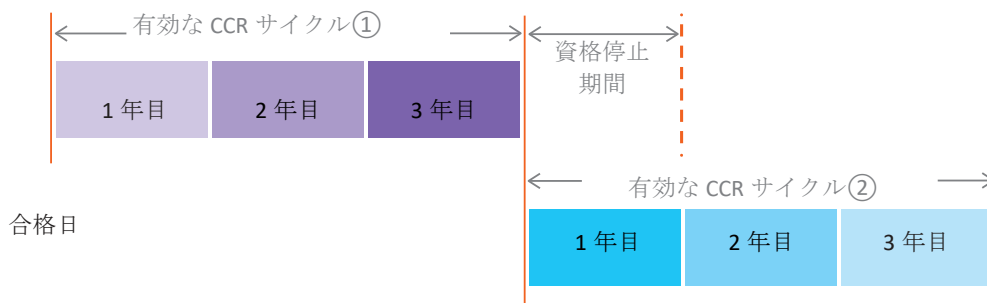
認定保有者のステータスは、認定を初めて取得した時点で **Active Status** となります。CCR サイクル終了日前に CCR の必要条件（PDU の取得・報告、更新料の支払いなど）をすべて満たすと、このステータスを維持できます。

Active Status の資格保有者は、Online [Certification Registry](#) に自動的に反映されます。このレジストリーへの登録は任意で解除することもできます。したがって、このレジストリーには認定者全員の名前が登録されているわけではありません。

Suspended Status（資格停止状態）

現在のサイクル期間内に CCR プログラムの必要条件を満たせなかった場合、**Suspended Status** になります。停止期間は 1 年間（12 か月）です。停止期間中は、資格保有者を名乗ることができません。再び資格保有者を名乗るには、停止期間内に必要な PDU を取得し、更新手続きを完了する必要があります。

Suspended Status から **Active Status** に復帰しても、次の CCR サイクル期間は変更されません（資格停止期間は、下記のように次のサイクルの期間と重複します）。



Expired Status（資格が失効した状態）

停止期間内に必要な PDU を取得できなかった場合や、更新プロセスを完了しなかった場合は、認定が失効して **Expired Status** へ移行します。資格が失効すると、資格保有者を名乗ることはできなくなります。**Expired Status** から **Active Status** に復帰するには、新しい申請書を作成して必要な料金を支払い、再受験しなければなりません。

Retired Status（条件を満たした退職者のみ申請できるステータス）

Active Status の資格保有者が退職により自発的に資格を放棄したい場合は、**Retired Status** への移行を申請できます。**Retired Status** を得るための条件は、プロジェクトマネジメント業務が主たる収入源ではなくなったことと、過去 10 年以上連続して **Active Status** の資格を維持していることです。**Retired Status** に切り替わった後は PDU の取得および報告は必要ありません。

Retired Status を申請するには、E メール (certccr@pmi.org) による書面で PMI に申請してください。**Retired Status** に関するガイドラインと記入が必要な書類をお送りします。

プロジェクトマネジメント業務を再開する場合は、PMI のカスタマーケアにご連絡いただければ **Active Status** への復帰を申請することができます。**Active Status** に戻ると、PDU の取得と報告が必要となります。

CCR の必要条件（対象：ディシプリンド・アジャイル関連資格）

すべてのディシプリンド・アジャイル（DA）関連資格保有者は、CCR プログラムに参加して 1 年ごとのサイクル期間内に資格を更新することで、自身が保有する資格を積極的に維持しなければなりません。専門能力開発活動や学習活動に積極的に参加することによって、資格保有者は PDU（Professional Development Units）を取得することができます、それによって資格更新条件を満たし、最終的には実務者としてさらに成長することができます。専門家が抱えるニーズや欲求は人それぞれです。CCR プログラムはそれらのニーズに適応し、それぞれの CCR 活動をカスタマイズできるように柔軟に設計されています。CCR プログラムはあくまでも一般的なフレームワークとガイダンスを示すものです。CCR 達成と能力開発の道筋に関する最終的な判断は資格保有者各自に委ねられています。

CCR システム（CCRS）

CCR システムは、CCR プロセスをガイドするオンライン・ツールです。CCR システムには <https://ccrs.pmi.org/> からアクセスできます。このオンライン・ツールを利用すれば、PDU の報告を簡単に行うことができます。

CCR システムでできることは次のとおりです。

- 自分の資格サイクルの確認
- CCR 必要条件に対する進捗状況の追跡
- PDU を取得できる活動（コースやイベントなど）の検索
- PDU の報告
- PDU 記録（PDU Transcript）の確認

PDU（ディシプリンド・アジャイル）

PDU は、承認された学習活動およびプロフェッショナル・サービス活動を定量化するために使用される測定単位です。DA スクラム・マスターは、1 年ごとのサイクル期間内にアジャイル関連のトピックで 7PDU を取得する必要があります。各専門能力開発活動を行うと、1 時間当たり 1PDU を取得できます。PDU は端数も報告することができます。報告できる PDU の最小端数は 0.25 です。つまり、報告できる PDU アクティビティに 15 分費やした場合は、0.25PDU を報告することができます。報告できる PDU アクティビティに 30 分を費やした場合は、0.50PDU となります。

資格保有者は、PDU アクティビティを実施した時にその活動を記録する責任があります。PDU を記録する最も効率的な方法は、CCRS を使用することです。有効な資格ステータスを維持するには、CCR サイクルが終了する前に PDU を記録し、更新手続きを完了する必要があります。CCR サイクル内に必要な PDU の取得と記録ができなかった場合、資格は Suspended Status（資格停止状態）になります。

資格更新の費用と規定（ディシプリンド・アジャイル）

資格保有者が PDU 必要条件を満たしていることを PMI が確認すると、資格更新手続きに関する電子メールが送信されます。この電子メールの指示に従い、Online Certification System で更新料を支払ってください。更新料は会員・非会員の別や地域により異なります。最新の料金は、PMI.org のディシプリンド・アジャイル（Disciplined Agile）のメニューで確認できます。

***注：PMI 会員の更新料は、資格更新料とは異なります。PDU 必要条件を満たした後は、更新料を支払えばサイクルのどの時点でも更新プロセスを完了できます。**



付録

PMI 資格認定申請および更新の同意条項 (PMI Certification Application/Renewal Agreement)

- 1) 私は、この同意条項および PMI 倫理・職務規定（改定される場合もある）を含むすべての PMI 認定資格プログラムポリシーおよび必要事項を満たし、それらに従い振舞うことに同意します。私は、PMI 試験問題およびコンテンツの機密を保持します。また私は、PMI 試験の問題および回答の具体的な内容について、いかなる個人を相手にも、いかなる方法でも議論、報告、開示しないことに同意します。
- 2) 私は、常に正直かつ誠実に行動し、PMI に偽りのない正確な情報を提供することに同意します。私は、本受験申請書または更新書の質問に対して正確、タイムリーかつ完全な回答を意図的または非意図的に示さなかった場合、PMI によるさらなる調査もしくは懲罰またはその両方の対象となる可能性があることに同意します。また私は、PMI 会員、PMI 資格認定申請者または PMI 資格保有者が PMI 倫理・職務規定違反の可能性のある行為を行った場合、直ちに PMI へ報告することに同意します。
- 3) 私は、現住所や電話番号を含む登録済みの情報に変更があった場合、速やかに PMI Certification Department に通知することに同意します。
- 4) 私は、私の業務または職業に関連するいかなる事件、訴訟、告訴、示談もしくはその他の合意またはその両方、行政処分または組織的処分が発生した場合も、発生から 60 日以内に PMI Certification Department へ報告を行っており、今後も行います。この報告対象には、プロジェクトマネジメント実務者としての専門的活動に関連するすべての申し立てと、資格、資格認定、不正行為、職業倫理またはそれらに類する事柄などが関係する事件または訴訟が含まれます。また私は、いかなる重罪に対する刑事責任、有罪判決もしくは司法取引、または不正行為もしくは倫理に反する行為に関連するその他の刑事責任、有罪判決もしくは司法取引についても、発生後 60 日以内に速やかに報告することに同意します。
- 5) 私は、この同意条項の順守にあたり説明および裏付け書類が必要な場合、完全かつ正確な説明および書類の真正な写しを本申請書と併せて PMI Certification Department へ提出することに同意します。
- 6) 私は、本申請書に記載された情報または PMI 資格申請に関するその他の何らかの情報の審査または確認のために、PMI Certification Department がいかなる人物、政府機関または組織に対しても連絡する権利を有していることに同意します。また、私は、かかる審査および確認のために必要ないかなる情報も PMI Certification Department が開示することに同意し、許可します。
- 7) 私は、PMI の資格認定を取得することがプロジェクトマネジメント業務または関連活動に従事するために必要な免許、登録または政府の承認を意味するものではないことに同意します。
- 8) 私は、PMI Certification Department に提出したすべての資料が PMI Certification Department の所有物となること、そして PMI Certification Department に返却義務がないことに同意します。
- 9) 私は、PMI の資格認定を取得した時点で、PMI のウェブサイト内で PMI によって作成および管理されている Online Registry 上で私の名前が公開される可能性があることに同意します。
- 10) 私は、私自身の PMI 認定プロセスへの参加に関連した情報が匿名の形で研究目的にのみ使用される可能性があることに同意します。
- 11) 私は、私自身の PMI 資格申請もしくは PMI 認定資格プログラムへの参加全般またはその両方に多少なりとも関連するすべての紛争が、Appeals Process（再審査請求手順）を含む PMI Certification Department のポリシー、手順および規則に従って単独かつ排他的に解決されることに同意します。



- 12) PMI は、この同意条項を順守できなかった、もしくはこれに違反した、または PMI 倫理・職務規定に違反したと判断された個人の資格を停止または剥奪する権利を有します。
- 13) 私は、私のプロジェクトマネジメントとそれに関連する活動に起因もしくは関係するすべての賠償責任および請求について PMI および PMI Certification Department を免責します。
- 14) 私は、この申請、試験のスコアまたは資格認定、試験、専門能力開発（活動）に関する PMI の措置に起因もしくは関連する告訴、訴訟、責務、損害、賠償請求、要求から PMI、その理事、役員、会員、試験官、職員、弁護士、代表者、代理人および PMI Certification Department を免責します。PMI の措置には、倫理上の問題および事例に関連したすべての措置が含まれますが、それらに限定されるわけではありません。私は、私の資格認定および資格維持、そして PMI 倫理・職務規定順守に関する決定は PMI の単独かつ排他的な裁量に委ねられ、最終決定であることを理解し、これに同意します。

この同意条項は改定される場合があります。資格保有者は自ら最新版をオンラインで入手する責任があります。
(最終更新 : 2022 年 5 月)





POWERING THE PROJECT ECONOMY®



PMI.org